



のいる風景

佐々木美津子さん



【ささき みつこ さん】 花園
 ●平成 22 年 4 月から、千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会の会長を務め、「千産千消」の促進や千歳の農業を知ってもらう取り組みをしている。
 ※千産千消MAPは、参加店・公共施設・交流推進課（市役所3階）にあります。

グリーン・ツーリズムで、 農業体験をしてみませんか

グリーン・ツーリズムという言葉
を耳にしたことはありませんか？
都市に住む人たちが自然豊か
な農村などで、地元の方との交流や
農業体験などを通じて、その土地の
自然や文化に触れる余暇活動のこと
で、近年、脚光を浴びています。

自然派志向の方が増えたことや、
受け入れる農家側も、農作業や農産
物の収穫・加工体験などのメニュー
を充実させていることが人気の背景
にあるようです。

千歳市では、平成17年に観光農園
や農畜産物の直売所、農家レストラ
ンを行う、27の農家などが中心とな
って、千歳市グリーン・ツーリズム
連絡協議会を設立しました。

現在は、42の農家や団体が、都市と
農村の交流、生産者と消費者の交流を
目指して、事業を行っています。

佐々木さんは、イチゴやハスカップ
の摘み取り、ジャム作りなどが体験で

きる、観光農園を経営しています。

約3ヘクタールの農園では、約1万
本のハスカップを育てています。「その
まま食べても甘酸っぱくて、おいしい
品種がありますよ」と目を細めます。

ハスカップの収穫時期となる6月
下旬から7月下旬は、市内や近郊の
まち、遠くは、北海道以外からも訪
れる方がいるそうです。「ハスカップ
には、目の疲れに有効な成分がたく
さん含まれているので、目に良いと
好評です」と笑みを浮かべます。

平成22年から市グリーン・ツーリ
ズム連絡協議会の会長を務める佐々
木さんは、千歳産の農畜産物は千歳
で消費する「千産千消」の促進や千
歳の農業をたくさんの方に知っても
らう取り組みを行っています。

「千産千消」とは、今から20年ほ
ど前に農家の女性が集まって雑談し
ていたときに生まれた言葉ですが、
それ以来、使っています」と笑います。

協議会が小学生や保護者を対象に
して実施する、野菜などの収穫やそ
ば打ちなどを体験できる「食育講座」
は、人気があるそうです。

「一番のイベントは、市内のホテル
を会場にして、農家の母さんたちが
自分の農場で採れた農産物を使った
家庭料理を市民に試食してもらう『食
と農の交流会』です。生産者と消費
者のふれあいを感じますね」と思い
起こすように話します。

この他に、出前講座や料理講習会、
農業体験型修学旅行生の受け入れな
ども行っているそうです。

協議会では、農畜産物の直売所や
農業体験の受入施設ガイドとして、
「千産千消MAP」を作成するととも
に、野菜や加工食品が抽選で当たる
スタンプラリーを実施しています。

「千歳の農業をたくさんの方に知っ
てもらいたいので、農村に遊びに来て
ください」と笑顔で話してくれました。